



JICA(国際協力事業団)

の「日系社会シニア・ボランティア」として、昨年7月からメキシコで日本語教師として活躍されている仕切晴治さん(萩原)からニューズレターが届きました。仕切さんには、今後、今年の初夏、秋、そして来年夏の3回、メキシコについての楽しいニューズレターを届けていただく予定です。お楽しみに。

今回は、新しい仕事にける抱負と、新成人の皆さんへのメッセージをいただきました。

「人生これがい」

仕切 晴 治

熊野町の皆様、明けましておめでとうございます。1万3千キロのあなたより、初春を寿がせていただきます。



ここ、メキシコの古都プエブラの日本語センターに、日系社会シニア・ボランティアとして日本語の指導と日本語学校の運営指導のために赴任して以来、早いものでもう半年が経過しました。所属していた自動車メーカーが希望退職を募集してからのこの2年間を振り返って見ますと、夢のような気がします。

人生は、何歳からでもやり直せる

私はいわゆる「団塊の世代」に属します。よきにつけあしきにつけ、ずっと日本社会のモデル・コースを歩まされて来ました。ベビー・ブームに過酷な受験競争、学園闘争、高度成長、石油ショックにバブルの時代、そして平成大不況と、中心にいたのは常に我々の世代です。そして今は、高齢化社会を創出する主人公。我々世代にとって、定年後をどう生きるかという課題が既に背中のにしかかっています。昭和の末頃から、マスメディアからは我々世代に対して「そんなに仕事にのめりこん

で、定年後はどう生きていくつもりなの？」という呼びかけが、常に流れていました。無趣味な私の唯一の趣味、関心の的は「日本語」の研究でした。この世界で仕事以外にのめりこめるものを見つけ

という信念が、私を後押ししてくれました。そうでなければ、神様がこんなにも長生きさせてくださるはずがないですよ。

新成人の皆さんへ

前からおこうと考えた私は、数年前から、外国人に対する日本語指導をはじめました。当初は広島市内の公民館で、中国帰国者の関係者や韓国人を相手のささやかな指導でしたが、次第に指導者希望の初心者を対象とした入門コースの指導など間口を広めていきました。それでも、その時点ではあくまで最後の隠居仕事、その予行演習のつもりで、まさか本業になる日が来ようとは夢にも考えてはいませんでした。

新成人の皆さん、20歳といえ、周囲の祝福の声とは裏腹に、誰でも一度ぐらいいは挫折を味わい、自分の人生もうおしまいだ・・・なんて思うことのある時期だと思えます。でも、皆さんの先輩達はみんな、それからさらに何十年、時にくすみ、時に輝きながら生きて来たんです。人生、毎日がスタートです。みなさん今年も1年がんばりましょう。そして、もし、今の自分が「くすんだ存在」にしか思えなくても、首を引っ込めることとはありません。これから先必ず輝ける時がやって来ることを信じてください。

献血にご協力ください

あなたの献血で助かる命があります。冬場は血液が大変不足します。皆様のご協力をお願いします。

とき 1月11日(土)

午前9時半～午前11時半
午後0時45分～午後4時

ところ ユアーズ熊野店

主催 安芸ライオンズクラブ
問合せ先

安芸ライオンズクラブ事務局

TEL 822-5277

FAX 822-7330

メール akilions@akinet.ne.jp

問合せ時間

平日 午前10時～午後3時
(企画課)

2月7日は北方領土の日です

政府は、毎年2月7日を「北方領土の日」と定め、北方領土返還要求運動を行っています。歯舞群島、色丹島、国後島及び択捉島のいわゆる北方四島の早期返還をめざし、皆さんのご協力をお願いします。

(企画課)

(総務課)